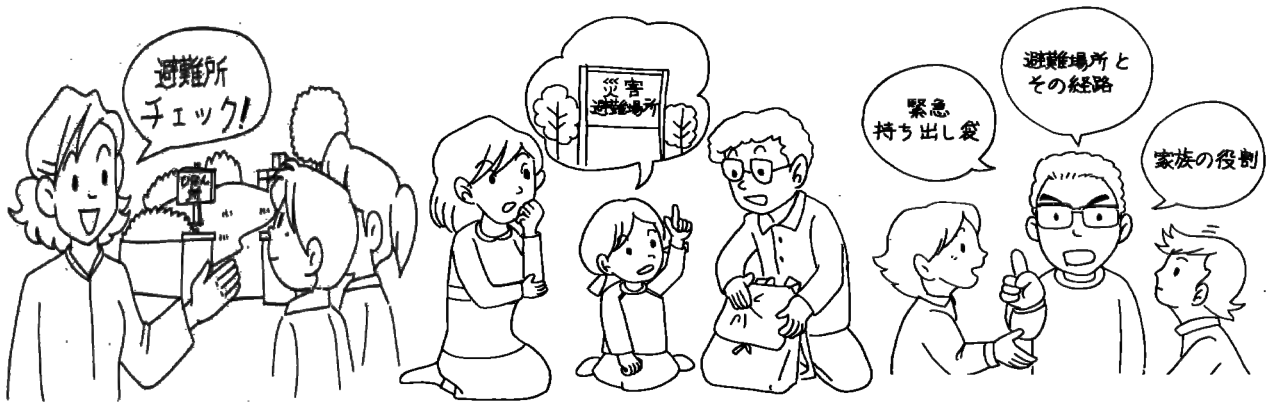


④ 家族で避難場所など話し合う

家族や近所の人たちで避難場所や安全に避難できる経路を確認しましょう

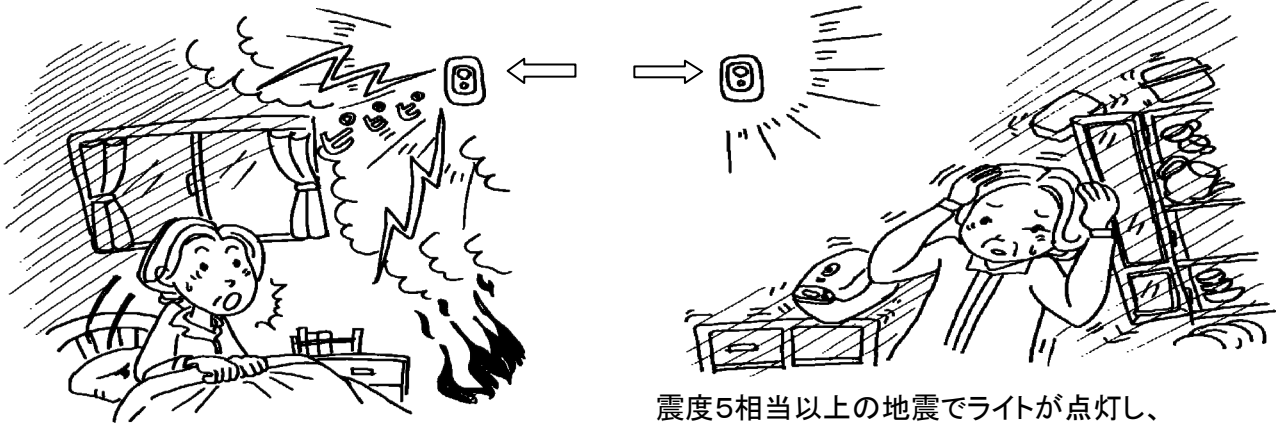


災害の時、必ずサポーターの方がすぐに来てくれる、または、連絡が来るとは限りません！！

災害の時は、みんな誰もが被災者ですから、まず『自分の身は自分で守る』ことを、日常生活の中で意識し、準備してください。

もし、災害が起こったら

音だけでなくライトが点灯して知らせる聴覚障害者用の火災警報器があります



煙を感知するとブザーが鳴りライトが点灯します

震度5相当以上の地震でライトが点灯し、
足元を10分間照らします

「あわてない」

○必ず「火」を消す

(ガスコンロ、ストーブ、たばこなど)

○上から物が落ちてこない所で待つ ○地震で戸が開かなくなる事も

あるので、戸・窓を開ける

